

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事後評価シート

評価実施年月：平成 29 年 3 月

1. 対象事業	前橋処理区 合流式下水道緊急改善事業				
2. 実施主体名称	前橋市				
3. 計画期間	平成 22 年度～平成 25 年度				
4. 対象事業の進捗状況	下記の内容について計画通り実施した。 ①汚濁負荷量の削減 ・前橋水質浄化センター内に雨天時貯留沈澱池を整備 ・ポンプ場の能力増強および運用方法の変更 ②公衆衛生上の安全確保 ・雨水貯留施設（滞水池：4 箇所、貯留管：1 箇所）を整備 ③きょう雑物の削減 ・きょう雑物除去施設を設置（雨水吐き室 23 箇所）				
5. 目標の達成状況	・改善目標 ①汚濁負荷量の削減：汚濁負荷量 361 t/年⇒230t/年（分流式下水道並み目標値） ②公衆衛生上の安全確保（未処理放流回数）：合計 837 回⇒418 回 ③きょう雑物の削減：23 箇所 【目標に対する達成状況】				
	改善項目	評価指標	対策前	改善目標	事後評価
	①汚濁負荷量の削減	年間 BOD 放流負荷量	361t/年	230t/年	202t/年
	②公衆衛生上の安全確保	未処理下水の放流回数	837 回	418 回	364 回
	③きょう雑物の削減	スクリーン設置箇所数	0 箇所	23 箇所	23 箇所
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	汚濁負荷量の削減、公衆衛生上の安全確保の目的で建設した 5 箇所の滞水池は、いずれも雨天時に高い頻度で稼働（未処理下水を貯留）している。また、前橋水質浄化センター内の雨天時沈澱池についても降雨量の増加に伴い処理水量が増加しており、対策施設における整備効果が確実に発現している。				
7. 事業の効率化に関する取り組み状況等	・ SPIRIT21（スクリーン）の活用 ・ ソフト対策として油（油脂類）の排水抑制の広報活動				
8. 今後の方針	・ 宅内雨水浸透ますの設置の広報活動 ・ 浸水対策事業、および土地区画整理事業等との連携により部分的な分流化を推進する。 ・ 市民に対して下水道の役割の理解、合流式下水道の改善に関する意識啓発を図る。 ・ 今後も引き続き、整備した施設の適正な維持管理を行い、放流先となる公共用水域の水質保全に努める。				